

さいたま市議会議員

市政レポート

# 神山崎いさお

<令和2年新春号>

発行者：神山崎いさお

さいたま市緑区

東浦和7-32-7

048-875-0130

048-810-5796

kanzaki8@jcom.home.ne.jp

## 令和元年12月定例会・一般質問で登壇

### 清水勇人市長の政治姿勢を質す！

**神山崎**⇒令和2年度は3期目の市長の最終年度だ。選挙時に市民と約束したマニフェストの進捗状況はどうか、また市長肝いりの「CS90運動」の見通しについて伺う。

**市長**⇒3期目の私のマニフェストは「しあわせ倍増プラン2017」「成長加速化戦略」といった行政計画に反映し、総合振興計画と一体的な進行管理のもとで施策の推進に全力で取り組んできた。概ね8割の事業が順調に推移している状況です。また、2020年までに住みやすいと思う市民の割合を90%以上にするという「CS90運動」については、令和元年度の市民意識調査が調査開始以来最高の84.4%になったとはいえ、残り一年での達成は非常にハードルが高いと考える。



**神山崎**⇒清水市長が今任期に向き合うべき課題として本庁舎の問題がある。さいたま市誕生以来いまだに残された重要課題であり、清水市長が誕生した経緯からして市長はこの問題を解決するミッションがあると考えているが、この任期中どうしていくか。

**市長**⇒本庁舎のあり方については、さいたま市本庁舎整備審議会の答申で示されたあるべき庁舎の諸条件を満たすものがあるか調査を進めた結果、さいたま新都心駅周辺に複数の適地があることが確認された。これらの適地を可能性がある候補地として、さらに検討を進め私の任期中にはその方向性を示していく。もし移転をするということになれば、現庁舎のある跡地についてもいろいろ検討していかななくてはならない。

### 新たなクリテリウム事業

**神山崎**⇒さいたまクリテリウムについて、今年度はさいたまスポーツコミッション（SSC）移行後初めての開催であったが、次年度以降は様々な改革がなされ新たな事業展開など大いに期待するがどのような方向性か。

**スポーツ文化局長**⇒今年度の大会も10万6千人という多くの方にご来場いただいた。今後の事業展開については、SSCにおいて民間の知見を活かした新たな取り組みが実施され年間を通して独自性のある事業が増えていく。また自転車を活用したまちづくりを行う上でのシンボリックな事業として、市民の皆さまが誇りに思えるイベントになるよう成長していくことを期待する。

## 持続可能な水道事業

**神崎**⇒水道法改正により法律の目的が「水道の計画的整備」から「水道の基盤整備」へと大きく変更され水道事業の大きな転換期を迎える中、将来にわたり安心・安全で持続可能な水道事業の構築に向けてどう考えるか。

**水道事業管理者**⇒本市の水道事業では 50 年後 100 年後を見据えた安全で強靱な水道を維持していくため、2021 年から 10 年間で計画期間とする「次期水道事業長期構想」を着手した。その長期構想の実施計画にあたる「中期経営計画」を作成し、将来にわたって水道の安全性・安定性の確保と健全経営を両立する。

## 農業交流施設の整備

**神崎**⇒緑区大崎に計画する「農業交流施設」について、農業振興に資するというだけでなく、見沼たんぼをはじめとする本市が持つ魅力を首都圏などの多くの消費者にアピールでき、さらには地域に賑わいをもたらす拠点になることなど期待される。今後のスケジュールと開設への決意を伺う。

**経済局長**⇒来年度当初には整備手法を決定し令和 2・3 年度に実施方針を策定、特定事業の選定をし事業者の選定、令和 4 年度から設計・施工、令和 5 年度中の開設を予定している。なお本施設は、生産の場と消費の場が近接する本市都市農業の特徴を活かし周辺住民や農業者の意見も伺いながら、農業者が将来の農業経営に希望がもてるよう地産地消を推進し、都市住民と農の交流拠点とするとともに本市経済の更なる活性化に繋げる。

## 河川改修と念仏橋建て替え

**神崎**⇒緑区の芝川の念仏橋周辺ですが、台風 19 号で越水し国道 463 号線が翌日の夕方まで通行止めだった。見沼たんぼがあるから住宅までの被害は免れたがたんぼ内の農地は甚大な被害を受けた。この念仏橋周辺の河川改修と念仏橋の建て替えについて伺う。

**建設局長**⇒現在、芝川第一調節池上流端から念仏橋までの用地買収に着手し対象地全 28 筆のうち 18 筆の物件調査を行っている。来年度も引き続き用地買収を行う。念仏橋は、河川計画の見直しに伴い位置が変更になり、今年度までには道路・橋梁の修正設計や地盤確認のためのボーリング調査を終わらせる。今後は、橋梁の架け替えに必要な用地測量を実施していく。

## 見沼代用水 世界かんがい施設遺産

**神崎**⇒見沼代用水は、これまで日本三大農業用水の一つと称され疏水百選にも選定されてきたが、2019 年 9 月に「世界かんがい施設遺産」に登録された。この機会にもっと見沼たんぼの PR を拡大強化すべき！

**都市局長**⇒見沼代用水は見沼通船堀のような歴史文化の息づく場、桜回廊とともに景観形成や観光の場、水生生物の生息の場としての役割があり大変重要な施設である。今回、世界かんがい施設遺産に登録されたことは、見沼たんぼの認知度向上や市民の誇りの醸成にも繋げることができる絶好の機会と考えており、見沼たんぼという貴重な地域資源を市内外へ積極的に PR していく。

この紙面では、私の一般質問の抜粋を記載いたしました。詳細については、さいたま市議会 HP にあるインターネット議会中継から録画(約 50 分程度)をご覧ください